



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社 丸 運 上場取引所 東証第一部
 コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 均
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 清野 政廣 TEL (03) 3433 - 0111
 (役職名) 総務部総務担当部長 (氏名) 柏木 久夫

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	13,526	△0.2	468	35.2	464	34.5	237	52.8
19年3月期第1四半期	13,556	1.5	346	50.7	345	57.2	155	83.7
19年3月期	56,185	—	1,850	—	1,834	—	956	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	8	23	—	—
19年3月期第1四半期	5	39	—	—
19年3月期	33	09	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	45,303	17,134	17,134	17,134	37.5	587.51
19年3月期第1四半期	45,783	16,202	16,202	16,202	35.1	560.58
19年3月期	46,318	16,895	16,895	16,895	36.1	579.17

2. 配当の状況

当社は、第1四半期末を基準日とした配当を実施していないため、記載を省略しております。

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

平成 19 年 5 月 9 日に平成 19 年 3 月期決算短信にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の堅調な伸びに支えられて設備投資が引き続き増加したほか、雇用環境の改善に伴い個人消費が回復し、輸出も新興・資源国向けを中心に底堅さを保つなど、景気は緩やかな拡大を続けました。

物流業界におきましては、国際貨物輸送量は中国向けを中心として堅調に推移したものの、国内貨物輸送量が減少傾向にある中で、燃油価格の高止まり、業者間競争の激化及び環境規制の強化など厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画の方針に沿って、営業力の強化やコスト競争力の向上などの諸施策の実行に努めました。

その結果、当第1四半期の営業収益は、前年同四半期に比べ、化成品輸送の減少や国際輸送における電子材料の在庫調整の影響などがあったものの、一般貨物輸送部門が伸長したことにより、総体としてほぼ横ばいとなりました。一方、損益は、新規物流拠点の本格稼動やグループを上げて推進した業務全般にわたる効率化の効果により、当第1四半期の連結経常利益は、前年同四半期に比べ1億19百万円増の4億64百万円となり、連結四半期純利益は、同じく82百万円増の2億37百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億15百万円減少し453億3百万円となりました。これは石油輸送などの季節要因による営業未収金の減少、有形固定資産などの減少によるものです。純資産につきましては、四半期純利益2億37百万円の計上やその他有価証券評価差額金の増加により、配当などの剰余金処分を差し引いて171億34百万円と前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加し、自己資本比率は、同じく1.4ポイント改善し37.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第1四半期の損益は比較的順調に推移しましたが、今後の景気動向や燃油価格上昇の影響などの不確実な要素があるため、中間期及び通期の業績予想の変更は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準、減価償却費の計算、その他影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な手続きによっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期 末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期 末)	増 減	(参考) 平成 19 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	4,372	4,519	146	4,495
受取手形及び営業未収金	8,351	8,191	△160	9,164
その他	973	842	△131	813
流動資産合計	13,698	13,554	△144	14,474
II 固定資産				
有形固定資産	26,389	26,218	△171	26,448
無形固定資産	249	218	△30	200
投資その他の資産	5,446	5,311	△134	5,195
固定資産合計	32,085	31,749	△336	31,844
資産合計	45,783	45,303	△480	46,318
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び営業未払金	4,714	4,694	△20	5,303
短期借入金	10,360	10,196	△164	10,073
その他	3,023	3,110	86	3,702
流動負債合計	18,099	18,001	△97	19,079
II 固定負債				
長期借入金	4,856	3,560	△1,295	3,839
退職給付引当金	2,910	2,787	△122	2,781
その他	3,714	3,817	103	3,722
固定負債合計	11,481	10,166	△1,315	10,343
負債合計	29,581	28,168	△1,413	29,423
(純資産の部)				
純資産合計	16,202	17,134	932	16,895
負債及び純資産合計	45,783	45,303	△480	46,318

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減	(参考) 平成 19 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 営業収益	13,556	13,526	△30	56,185
II 営業原価	12,624	12,485	△138	52,018
営業総利益	932	1,040	108	4,166
III 販売費及び一般管理費	585	571	△13	2,316
営業利益	346	468	121	1,850
IV 営業外収益	63	57	△6	202
V 営業外費用	64	61	△3	218
経常利益	345	464	119	1,834
VI 特別利益	13	7	△6	78
VII 特別損失	3	17	13	104
税金等調整前四半期（当 期）純利益	355	454	99	1,807
税金費用	198	217	19	825
少数株主利益（△は損失）	1	△0	△2	25
四半期（当期）純利益	155	237	82	956